

今冬の電力需給状況と省エネ行動の呼びかけについて

平成 28 年 11 月 17 日
エネルギー検討会
広域環境保全局

1. 今冬の電力需給状況について

国における検証によると、全国及び関西エリアの電力需給については、安定供給に最低限必要とされる予備率 3% 以上を確保できる見込み。

今冬の全国及び各エリアの電力需給見通し（2月）

（単位：万 kW）

	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	中西日本 6 エリア	全国 (沖縄エリア 除く)
供給力	2,482	558	2,810	1,215	536	1,631	9,232	16,583
需要	2,381	515	2,574	1,057	491	1,479	8,497	15,442
供給－需要	101	43	236	158	45	152	735	1,141
予備率	4.2%	8.3%	9.2%	15.0%	9.2%	10.3%	8.6%	7.4%

総合資源エネルギー調査会電力・ガス基本政策小委員会 資料

※ 12月、1月、3月においても、関西エリアは予備率 3% の確保が可能

2. 省エネ行動「関西冬のエコスタイル」の呼びかけについて

- 東日本大震災以降、電力需給ひっ迫の対応として 12 月から翌年 3 月の間、節電の呼びかけを行ってきたところであるが、今冬については、電力需給が安定した状態になると想定される。
- 一方、新たな国際的枠組みであるパリ協定が 11 月 4 日に発効し、国においても 5 月に地球温暖化対策計画が閣議決定され、11 月 8 日には国会においてもパリ協定が承認された。
- こうした中、温暖化対策の観点から、エネルギー消費量が増加する冬季においてこれまで培ってきた取組が継続されるよう、引き続き広域での省エネ行動の呼びかけをしていくことが必要である。
- 12 月から 3 月の間、暖かい服装による適正暖房、省エネ家電の選択等の省エネ行動を「関西冬のエコスタイル」として、別添の統一ポスターにより呼びかけることとする。

続けよう!

ポスター：A2サイズ

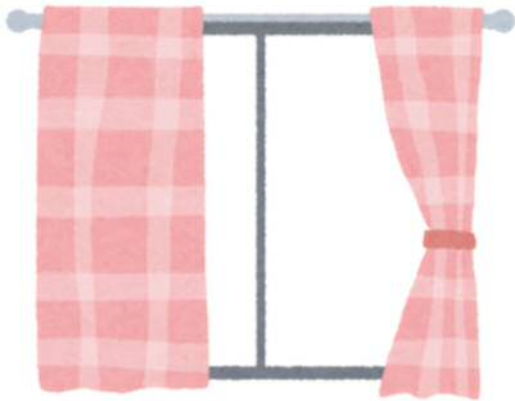
関西 冬のエコスタイル

温度目安
家庭は室温 20℃
職場は室温 19℃



暖かい服装で、過度に暖房機器に頼らない冬を過ごしましょう。

温かい食べ物や飲み物で、体を温めましょう。



遮熱カーテンなどを利用して、部屋の断熱性を高めましょう。

家電を買い換える時は「省エネ家電製品」を購入しましょう。



未来のために いま選ぼう
冬の省エネ

